

北海道は素材型産業が主体で、電気、精密機械等、加工度の高い少なく、産業構造的にも、景気のめぐり合わせの良くない段階にあります。又農業も、昨年は冷害、今年は雨の被害と。消費もだめ、来年も景気は期待出来そうにありません。第2次オイルショック後の調整で、日本経済の体質が変って来ていると言えます。特に道南の場合、産業機造が片寄っていると言えます。又道南の市場の、経済的分析の数値も、北海道平均をかなり下まわっているのが実態であります。又昨年から今年にかけ大型到産が続きましたが、これらの企業をみても、本州企業と比べ、資金計画、収益計画が甘い、金融機関に対する信頼感が充分でない、市場調査等の資料の収集が不足、自己資本比率が低い等が指摘できます。テクノボリスとしても、主産業にI.C生産を考えることにも問題が多過ぎると言えます。日本I.C生産工場は九州に集中しており、技術的にも一歩も2歩も先じています。世界アメリカでも日本の技術を高く評価し、それに対応すべく、設備投資を行っております。函館に在来の産業、企業、学術等を見直し、生命工学等、新しい分野での産業の開発を考えるべきではないかと考えます。

○出席報告

会員数	68名	出席率	函館北 12月 2日	97.0
出席席	43名		函館東 11月24日	96.6
欠席	25名		函館 11月26日	98.3
他クラブ出席	23名		函館五稜郭 11月27日	100.0
出席合計	66名		函館亀田 11月23日	祝日休
除外者	0名			

次回・12月23日

プログラム

クリスマス家族会

於 国際ホテル

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第7分区

The Weekly Report of



1981~1982

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ 会報

スタンレー E. マッキャフリー R.I. 会長 テーマ

World Understanding and Peace Through Rotary

『ロータリーを通じて世界理解と平和を』



北R.C. 深瀬鴻一郎 会員

《第879回例会》第25号 12月23日(水)

今日のプログラム

クリスマス家族会

於 国際ホテル

★会長 岩塚陽一

★幹事 松橋博

1981～1982〈第878回例会〉第24回

12月 16 日の記録

●司 会 岩塚 陽一 会長 ●斎 唱 我等の生業

●ビジター 東京葛飾東R.C. 村瀬 光正 君 函館R.C. 松岡 悟 君他2名
五稜郭R.C. 福久 久夫 君他2名 函館東 R.C. 白幡 涼 君他2名

●ゲスト 函館市史編さん事務局 當作 守夫 氏

●会長報告 岩塚 陽一 会長

- 先日北クラブでクリスマスプレゼントを渡島コロニー（侑愛会）に差し上げました所、会長と社会奉仕委員長宛に礼状がまいておりますのでお知らせします。
- 先週お願ひしましたが、ラ・サール高校のインターラクトのカレンダー、12月末日までというのが、1月末日まで延期になっておりますのでよろしくお願ひ致します。
- 歴代会長会の方は、例会終了後、下のロビーにお集り願います。

●幹事報告 松橋 博 幹事

- 次週の例会はクリスマス家族会になります。多数のご参加お願ひします。
- 新年の第一週は、夜間例会に変更になっております。これも多数のご参加お願ひします。
- 21日の亀田クラブの例会は夜間例会になっております。
- 22日の函館東クラブの例会は21日に変更になっております。
- 24日の函館クラブの例会は23日変更になっております。
- 25日の五稜郭クラブの例会は24日に変更になっております。

★健康診断結果報告 斎藤 紀一 会員

12月3日に行いました健康診断の結果について報告します。14名の方が検査を受けましたが、異常なし2名、多少あるがその他は異常ないだろうという方が3名、再検査及び治療が必要だという方が8名おります。又13日に胃の検査を行いましたが胃かいようの疑いのある方が1名、肝疾患2名、高血圧2名、貧血の方1名、糖尿病の疑いのある方が4名おりますが、朝食をして来たかどうかあとでチェックをしてみたいと思います。

●親睦活動委員会 上木原 孝志 会員

ニコニコBOX投入報告

古川谷会員……ホームクラブ欠席のお詫び

吉井 会員 "

村瀬 光正会員(東京葛飾東R.C.)…本日お世話になります。

★お 札 吉井 政嗣 会員

先般、11月28日PM 8:00頃出火による火災事故に際しましては、メンバーの皆様には大変御心配をお掛け致しました。さっそく現場にかけつけて下さり、見舞って下され御力ぞえを下さいましたことは誠に有難く厚く心より感謝申し上げます。お陰様にて、あとかたたずけも終り、深瀬会員の病院前に新事務所を設けまして営業を開始致しました。メンバーの皆様の友情と御好意に心より感謝申し上げます。

どうも有難とうございました。

新事務所住所 松川町40-18 ☎ 42-6311

●卓 話 "文明開化期の函館"

函館市史編さん事務局 當作 守夫 氏

当時、鯨漁船と言っていた、アメリカの捕鯨船の来航が、函館の開港に、また函館の文明開化に密接な関係をもっていることは、極めて興味のある史実である。

日本の開国が、嘉永6年、7年(1853-54)にわたる2度のアメリカのペリー提督の来航によってなされ、箱館(明治2年(1869)、函館と改める)も世界の資本主義の市場に門戸を開いたが、アメリカの日本開港の気運はすでに、捕鯨船の日本近海への進出とともに、徐々に作られていた。

函館は、北海道開拓の基地として、これらを背景として発展していったが、幕末から明治初期にかけて、多数の外国人が来ており、一一名前はあげないが、外交官、貿易商人、宣教師など多いが、そのほかに、お雇い外国人と言われる人も何人かいる。

函館における外国人の活動は、中央で活躍した外国人の華々しい活動に比べると、閑却視されがちであるが、語学、医学、牧畜、農業、鉱山採掘、製革技術、気象観測など、地方文化の発展につくした功績には測りしれないものがある。

西欧の新しい思想、学問、文物を大量かつ急激に採り入れたさい、当時の文明

開化論者と言われる人々は、ほとんどが官僚学者であり、それらを表わす西洋語の訳語に多く漢語をあげた。

これには翻訳にあたった人々に、漢語の素養のあったことが大きく影響しているのだろうが、文明開化期の重要な時期に、外国の新しい学問や思想、文物を日本語の翻訳語ではなく、漢語の訳語偏重の形で受けいれたことは、日本語、日本の文化にとって不幸なできごとであったと思う。

函館は、幕末から明治初期にかけて、北日本でただ一つの開港場であり、北海道がまだ未開の原野であったとき、函館は日本人の住む、ほぼ最北端にありながら、国際的な文明開化の洗礼をうけていた。

函館は、西欧諸国の秀れた技術と安価に入手することのできる商品を背景とする西欧文明の吸収を、好むと好まざると拘らず、北海道開拓の窓口として、世界の資本主義社会に登場するための重要な課題であったし、また、陋習一新の風を全国的に及ぼすことが、明治新政府の方針であったので、ほとんど強制的に、西欧の文明を受け入れることが催促されていた。

そのため、市民は外国人からは、日本人のもつ根本的な陋習をつかれながら、本質的な反省をする時間的な余裕もなく、眼だけは外国人の生活や文化に向かっていた。文明開化期の函館は、あらゆる意味で、旧来の陋習を打破し、新しい制度と社会秩序をもとめて突進していき、雑然混沌とした中にも、活気にみちあふれた時代であり、数多くの有為の人材を生む素地を育てた時代であったということができよう。

○ 出席報告

会員数	68名	出席率	函館北 12月 9日	95.59
出席	52名		函館東 12月 1日	97.75
欠席	16名		函館 12月 3日	99.16
他クラブ出席	13名		函館五稜郭 12月 4日	100.00
出席合計	65名		函館亀田 11月 30日	95.35
除外者	0名			

次回・12月30日

プログラム

環境の変化と企業経営のあり方

経営士 熊城正人氏

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第7分区



1981~1982

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ 会報

スタンレー E. マッキヤフリー R.I. 会長 テーマ

World Understanding and Peace Through Rotary

『ロータリーを通じて世界理解と平和を』



北R.C. 深瀬鴻一郎 会員

《第880回例会》 第26号 12月30日(水)

今日のプログラム

「環境の変化と企業経営のあり方」

経営士 熊城正人氏

★ 会長 岩塚陽一

★ 幹事 松橋博